

羽田増枠が市場拡大の大きな契機に「スポーツ」切り口に訴求

2020年に向けたブランドUSAの取り組み



左から高久氏、早瀬氏

アメリカ合衆国の観光プロモーション組織として活動する「ブランドUSA」。来年の羽田国際線枠拡大に伴い、日米間のフライトが拡大することから、今後の旅行需要拡大に大きな期待を寄せる。これまでの活動をベースに、よりアクセスしやすくなる地方での取り組み強化や、これまでの「音楽」に加え、注目を集めるスポーツを切り口とした訴求に努め、「旅行会社ならではの」商品造成をサポートしていく方針だ。これまでの活動や今後の方針について、ブランドUSA日本事務所代表の早瀬陽一氏と、旅行業界担当ディレクターの高久渉氏に話を伺った。

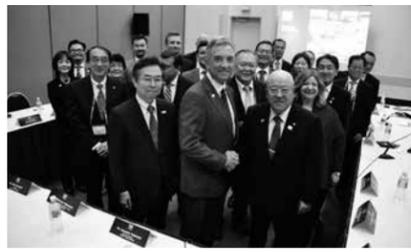
これまでの活動

「音楽」を切り口に訴求 IMAXやセールスミッション実施

2019年度(ブランドUSAの会計年度:2018年10月~2019年9月)においては、アメリカの「音楽」を切り口に訴求。IMAX®シアター向け映画「アメリカンミュージックジャーニー」の日本公開(2018年11月)のほか、昨年9月の東京に続き、今年9月下旬に大阪と名古屋、福岡で旅行会社向けの上映会を開催。また音楽を切り口としたメディアFAMを今年9月に実施。音楽との親和性の高い、ネバダ州ラスベガス、テキサス州オースティンとルイジアナ州ラファイエットとニューオーリンズを訪れた(協力:アメリカン航空)。



長や観光庁田端浩長官、ブランドUSA幹部ら日米の観光関係者トップが集まった日米観光合同ミーティングでは、日本側より訪米者年間500万人達成という将来的な目標が示された。早瀬氏は「日本側から前向きな目標設定があり、ブランドUSAとしても好意的に捉えている」と述べ、大きな期待を示した。



日米観光合同ミーティングの様子



日本各地で共催セミナー ウェブサイトの積極活用も

ほかにも、JATAのアウトバウンド促進協議会(JOTC)北中南米部会との共催による旅行会社向け「深掘りセミナー」(2019年2月)や、ビジットUSAコミッティーとの共催による業界向けセミナーとワークショップを全国各地で開催、「足並みを揃えて積極的に活動した」(早瀬氏)と振り返る。また旅行会社に向いた個別セミナーも数多く実施、セミナーについては、今後も引き続きJATA、ビジットUSAコミッティーとの共催で開催していく計画だ。

一方、業界向けウェブサイト「ビジットUSAトラベルトレードウェブサイト」においては、内容拡充を図ると共に、利用促進に努めた。同サイトは、著作権フリーの画像や動画がダウンロードできる「メディアパレット」や、目的地や旅行期間、興味のあるアクティビティを入力すると、おすすめのサンプル旅程が表示される旅行プランナーを設け、商品造成の面でも利用価値の高いサイトとなっている。

同サイトについて、高久氏は「メディアパレットの登録申請が増えており、日本市場においても利用が浸透している」と説明。今後はサンプル旅程の日本語化をさらに拡充、使い勝手も改善することで、より利用しやすいサイトに整備していく。

また旅行会社向けのFAMを年2回実施。「日本からの直行便が飛ぶゲートウェイ都市から先の新しい目的地を訪ねる」(高久氏)のが目的で、今年度は5月にアラスカ(協力:デルタ航空)、9月にニューイングランド各州(協力:エア・カナダ)を訪問した。



「ビジットUSAトラベルトレードウェブサイト」 traveltrade.gousa.jp

旅行会社のプロモーションをサポート 「BtoBtoC」でアメリカを訴求

一方、日本サイドでは、旅行会社向けの活動として、旅行会社が一般消費者向けに展開するプロモーションへのサポートにも注力。オンラインでの販促サポートに加え、旅行会社の社内勉強会への参加や社内FAMへの協力、商品造成や店舗でのプロモーションなど、その内容は多岐にわたる。

早瀬氏は「BtoBtoCのサポート。単なるモノステイの商品を売るのではなく、新しい目的地や素材が入っていることが条件となる」と説明。特に「予約数が見え、費用対効果が分かるプロモーションをサポートしていきたい」と語り、来年度も継続する意向だ。

今後の活動

「エンターテインメント」を切り口に訴求 IMAXやセールスミッション実施

今後の活動については、やはり来年の羽田空港の国際線発着枠拡大が大きな契機となる。2020年3月末より、羽田—アメリカ間のフライトが新たに1日24便追加、成田からのシフトが一部あるものの、日米間の航空座席供給量は大きく増加、今後の旅行需要増に期待がかかることだ。

早瀬氏は「地方からのアクセスが格段に向上するだけでなく、成田からのフライトも多くは残るので、座席供給量は純増となり、質、量共に大きな変化をもたらす。上手く連動したプロモーションを展開していきたい」と意気込みを見せる。

具体的には、セミナーやイベント等、地方都市での活動を強化。「直行便だけでなく、経路便の訴求も図っていく」考え。また「質」の変化として、注目するのは、出張にプラスして現地に滞在して観光を楽しむ「プレジャー(ビジネス+レジャーの造語)」需要。延泊による滞在日数の増加が期待できる。「市場環境の変化に注目しながらプロモーションを展開していく」意向だ。

「質」においては、日米両政府も航空路線拡大には前向きに取り組んでおり、特に「プリ

クリアランスやグローバルエントリーなど、入国対策が進むことに期待している。上手く観光客の増加につなげていきたい」とのことだ。

「スポーツ」切り口に訴求 「音楽」も継続、IMAX第3弾も

新たな取り組みとして、「スポーツ」を切り口とした訴求にも力を入れる。野球やバスケット、テニスなど、日本人選手の活躍に注目が集まり、さらに来年は東京オリンピック/パラリンピックが開催され、スポーツへの関心は高まっている。

早瀬氏は「アメリカは、スポーツとの相性が良い。試合観戦やスタジアム見学、スポーツ体験など、旅行会社にとってみても、スポーツを絡めた旅行商品を作りやすいのではないかと。商品造成やメディア展開、セミナーによる啓蒙、スポーツを絡めたFAMなど、さまざまな取り組みをしていきたい」と意欲を見せる。また「スポーツも音楽も、エンターテインメントである点は同じ」として、「音楽」も引き続き訴求していく。

第3弾となるIMAX®シアター向け映画の製作も進む。アメリカでは、来年2月にプレミア上映、その後日本での公開も予定する。また「アメリカン・ミュージック・ジャーニー」も、博物館など教育施設での上映や、地方マーケットでの強化といった場面で活用していく。

企画力を活かした商品造成を増便の「追い風」契機に

ブランドUSAでは、日本市場を「成熟市場」と位置づけ、穏やかな成長を見込んでいるが、来年の羽田増便については、マーケット拡大の大きな契機と位置づける。早瀬氏は「増便という追い風は、旅行会社にとっても旅行商品を改めて見直す良いタイミングなのではないか」と提案、「モノステイなどの売れ筋商品は、OTAやダイナミックパッケージ、FITが強い。旅行会社ならではの企画力を活かした新たな商品造成に期待している。ブランドUSAでは、業界向けウェブサイトなどを通じてそのお手伝いをしたい」と述べ、旅行会社へのサポートに注力する姿勢を見せた。



福岡での上映会の様子

また今年で3回目となる「ブランドUSAセールスミッション」を今年7月に東京で開催。現地より計18団体が参加し、旅行会社とのアポイント制による商談会やセミナーのほか、メディアイベントも実施。セールスミッションについては、来年度も継続する予定だ。



ブランドUSAセールスミッション2019の様子



「訪米者500万人達成」へ向け確認 日米観光合同ミーティング

USTラベルアソシエーション主催のトラベルトレードショー「IPW」では、今年はMLBエンゼルスの大谷翔平選手の活躍で引き続き注目を集めるカリフォルニア州アナハイムでの開催もあって、日本側から100名以上が参加。日本旅行業協会(JATA)の田川博己会

週刊ウイングトラベル			
アメリカ特集 2019			
WING Travel Weekly "USA Special 2019"			
CONTENTS			
page 2	ブランドUSA Brand USA	10	ハーツレンタカー Hertz Rent A Car
3	ANA ANA	11	アラモレンタカー Alamo Rent A Car
4	ドライブコース Driving course	12	ラスベガス観光局 Las Vegas Convention and Visitors Authority
5	ディズニー・ディステイネーション・ インターナショナル Disney Destinations International	13・14	アメリカン航空/日本航空 American Airlines/Japan Airlines
6・9	デルタ航空 DELTA		
7・8	革新と驚きに溢れたアメリカならではの 新しく、ユニークな体験 New and unique experiences with innovation and wonder in USA		

【表紙クレジット】(上から1段目左2番目から)Washington County Travel Association、画像提供:ハワイ観光局、©WSL/Morris SOCIAL、Courtesy of John Lok and Space Needle LLC(上から2段目左から)©Kirin Sekito/MVA、©モンタナ州観光局(上から3段目左から)©Photo Courtesy of Bank of America Chicago Marathon、写真提供:バーゼル州観光局(上から4段目左から)©ミシシッピ・リバー・カンントリーUSA、©Juno Kim(上から5段目左から)©Lora Slawitschka(上から5段目右3番目から)©Las Vegas News Bureau、©バーモント州観光局、©ニューハンプシャー州観光局(上から6段目左から)©Adam Alexander/Illinois Tourism Office、©Logan Young/Travel Memphis、©マサチューセッツ州観光局、©San Francisco Travel Association(上から7段目左から)©ポर्टランド観光協会、©クアム政府観光局、©Sydney Martinez/TravelNevada、©NYC & Company ニューヨーク市観光局、写真提供:JKG II, Flickr

最上級のくつろぎ空間

新ファーストクラス／ビジネスクラス

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER

2019年ウィンターダイヤ中にニューヨーク路線に順次導入予定

日本を代表する建築家、隈研吾氏の総合監修のもと、イギリスのデザイン会社Acumenに客室デザインを依頼し、先進的でありながらも日本らしさが感じられる世界最高レベルのくつろぎ空間が誕生した。ドア付きの個室型ワイドシートは、これまでにない広さと寝心地で、機内での多様な過ごし方に応える。日本のANAから、世界のANAへ、新たに生まれ変わった空間でより快適な空の旅を。



日本で唯一。
7年連続、世界最高評価「5スター」を獲得

FIRST CLASS THE Suite 5つ星ホテルにいるような贅沢な時間を

洗練されたデザインのシートで、居住性と機能性を最大限に高め、ファーストクラスという名にふさわしい、唯一無二の空間が実現。



- ANAとして最大となる広さを実現したドア付き個室型ワイドシート
- 全席ドア付き個室スタイルで完全なプライベート空間を実現
- 43インチの大型モニターは、機内のパーソナルモニターで世界初となる4K*ならびにフルHDに対応
- 中央席は可動式パーティションでペア利用にも対応

*4K対応番組は順次拡大予定

BUSINESS CLASS THE Room まるで自宅でくつろいでいるような空間

ビジネスクラスでANA初となるドア付き個室型ワイドシート。世界最大級のシート幅と、寝心地にこだわったシートクッションを採用。



- 最大幅は現行シートの約2倍。ANA史上最大の広さを誇るワイドシート
- ANA初となる全席ドア付き個室型シートで完全なプライベート空間を提供
- 24インチの大型モニターは、機内のパーソナルモニターで世界初となる4K*ならびにフルHDに対応
- 中央席は可動式パーティションでペア利用にも対応

*4K対応番組は順次拡大予定

「眠り」にこだわった設備とサービス

最上級のくつろぎ空間を目指し、特にこだわったのが「眠り」。機内でもゆっくり休息できるよう工夫をこらしている。



効果的な照明も

ファーストクラス

- 西川株式会社との共同開発によるシートクッション
快適な西川のマットレスを機内でも提供するため、共同で開発した特殊立体構造ウレタンをシートに内蔵。座り心地と寝心地の両方を追求した新感覚クッションは、効率的に体圧を分散する構造で良好な寝姿勢を維持し、快適な寝心地を提供する。
- 快適な睡眠をサポートする羽毛布団や枕、キャビンウェア
- 航空会社では世界初となる、英国のラグジュアリーブランド「グローブ・トロッター」のANAオリジナルポーチによるアメニティキット
- パナソニック製のスペシャル照明を採用。「ウェイクアップモード」で快適な目覚めを



寝具、アメニティキット(ファーストクラス)



アメニティキット(ビジネスクラス)

機内にはこんなこだわりも

搭乗した瞬間から、日本らしさとANAのおもてなしを感じてもらえるような機内設備を拡充。



エントランスエリア

開放感のあるアーチ型の天井。大型のウェルカムモニターや雲をイメージしたローラーブラインドを設け、スッキリとした空間でお出迎え



バーカウンター

ビジネスクラスに設けたバーカウンターは、ライトを照らすことで和紙のデザインが映し出され、日本らしさを感じさせるパネルが印象的。冷蔵機能とモニターも兼ね備える

機内食もより充実

空の旅の楽しみのひとつが機内食。多様なニーズに応え、味はもちろん、見た目にもこだわりを。



和食(ファーストクラス、一例)



洋食(ビジネスクラス、一例)

- 和食器に続き、本年秋からは洋食器もリニューアル。伝統的なフレンチスタイルにモダンと日本を感じるアクセントを加えた新洋食器で、視覚的にも美味しさが伝わるラインナップに
- ビジネスクラスでは、機内食の事前予約サービス*を提供。成田・羽田発の一部路線では、搭乗便以外で提供している有名レストランやシェフとのコラボレーションメニューのチョイスも可能

* 出発の24時間前まで。一部割引運賃は対象外。深夜便など一部対象外のフライトも。数には限りがあります

商品造成のヒントが満載 旅行業界向けオンラインサイト traveltrade.gousa.jp

ブランドUSAでは、アメリカの旅行商品の造成に役立つ旅行業界向けのオンラインサイトを開設している。テーマとエリアを選択することで、要望に応じたモデルコースの提案に加え、そこから画像と動画ビデオを検索することができる。この業界向けサイトは、公式サイト「gousa.jp」内の「旅行業」をクリックすると閲覧可能。そこで掲載されているモデルコースの中から、おすすめドライブコースを紹介する。



Driving Course 1

アメリカ有数のリゾート地「ラスベガス」から、 絶景が広がる国立公園へ

24時間眠らない街「ラスベガス」を出発点に、アメリカ有数の国立公園を巡る。エンターテインメントの街「ラスベガス」と、自然により長い年月をかけて作り出された壮大な景観を体感できるドライブルートだ。



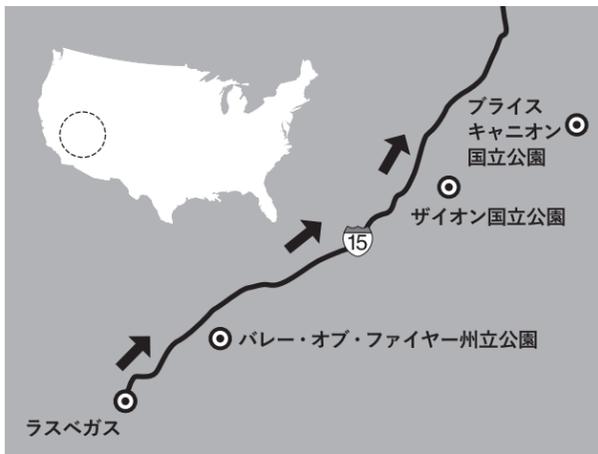
ラスベガス

ネバダ州南部に広がる砂漠の中に忽然と現れるネオンの街「ラスベガス」を起点にドライブをスタート。街の中心を貫くストリップ沿いには、趣向を凝らしたリゾートがずらりと並び、レストラン、エンターテインメントやショッピングなど、旅の楽しみが凝縮されている。



バレー・オブ・ ファイヤー州立公園

ラスベガスから車で1時間かからないところにある州立公園。ネバダ州で最も長い歴史を持ち、1億五千万年前にできた、壮大な砂岩、古代の人類が描いたペトログリフと呼ばれる壁画、また数多くの野生生物を見ることができる。



ザイオン国立公園

さらに北西に車を3時間走らせる。切り立った赤い崖と、そびえ立つ巨石、そして川と滝で有名な場所。ザイオン渓谷の両岸に迫る絶壁は、高さ約300メートル、川幅は6~9メートルで、ここでのハイキング体験がおすすめ。壮観な景観が広がる。



ブライスキャニオン国立公園

公園には往復61キロの美しいドライブコースがあり、途中美しい見晴台がある。見逃せないのは、広々としたブライアンフィシアターへ降りていくハイキングコース。細長く高い岩の尖塔で埋め尽くされており、サンライズやサンセットはまさに絶景。

Driving Course 2

楽しみが満載！ 太陽が輝く夢の楽園

家族みんなが大満足のフロリダ州のドライブコース。自分のペースで自由に旅を進められるのがドライブ旅行の醍醐味。マイアミを拠点として、テーマパーク巡りや街歩きなど、小さな子どもから大人まで、アメリカの魅力を満喫できる。



マイアミ

「アメリカのリビエラ」と呼ばれるアールデコ地区にあるサウスビーチから旅をスタート。オープンエアのカフェやショッピング、ラテンをテーマにしたレストランやクラブなど、開放的な雰囲気が楽しめる。



ココアビーチ

ノスタルジックな雰囲気に包まれたサーフタウン。ビーチではサーフィンのレッスンを受けることができる。有名なロン・ジョン・サーフ・ショップでは、サーフグッズなどが購入できる。近くのケネディ宇宙センターにも立ち寄りたい。



オーランド

テーマパークの宝庫オーランド。マジックキングダム・パークやディズニー・アニマルキングダムなど4つのパークと2つのウォーターパークがあるウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートをはじめ、特に子供連れファミリーにうれしい大型パークが盛りだくさん。



セントオーガスティン

アメリカ最古の街と呼ばれるセントオーガスティンへ。ヨーロッパからの入植者やアメリカ先住民、アフリカ系アメリカ人の影響を強く受けた、4世紀以上にわたる豊かな歴史が感じられる。名所や博物館巡りなど、街歩きに最適。

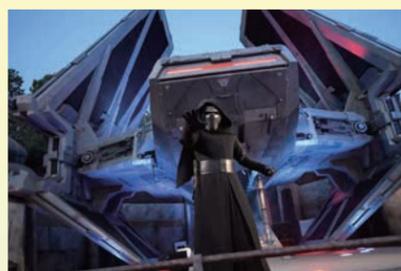


カリフォルニアとフロリダに「スター・ウォーズ:ギャラクシース・エッジ」が新登場 最先端アトラクションを備えたディズニー史上最大規模のテーマランド

カリフォルニア ディズニーランド・リゾートとフロリダ ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートに「スター・ウォーズ:ギャラクシース・エッジ」が新登場。いずれも東京ドーム約1.2倍の広さでディズニー史上最大規模のテーマランドになる。カリフォルニアでは今年5月31日にディズニーランド・パークに、フロリダでは今年8月29日にディズニー・ハリウッド・スタジオにそれぞれオープンした。

大ヒット映画『スター・ウォーズ』の世界観を再現。惑星パトゥーの貿易港「ブラック・スパイア・アウトポスト」を舞台に、2つの最新

アトラクションで未知なる体験を楽しむことができる。「ミレニアム・ファルコン:スマグラーズ・ラン」はすでにオープン。もうひとつの



「スター・ウォーズ:ライズ・オブ・ザ・レジスタンス」も近日オープン予定だ。

オリジナルグッズやフード&ドリンクも盛りだくさん。BB-8、チューバッカといったおなじみのキャラクターと出会えるほか、実物大のミレニアム・ファルコンを目のあたりにできるなど、ワクワクが止まらないディズニーマジックが満載だ。

アメリカの『TIME』誌では、「2019年に行くべき世界のディスティネーション100」にも選出。今年12月20日にはスター・ウォーズ最新作『エピソード9/スカイウォーカーの夜明け』が世界同時公開されることもあ



り、ディズニーファンやスター・ウォーズファンのみならず世界中から大きな注目を集めている。

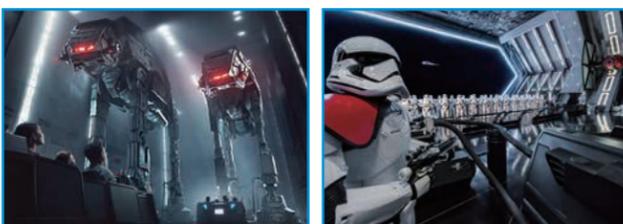
スター・ウォーズの世界をリアルに体感 スリル満点の最先端アトラクション

ミレニアム・ファルコン:スマグラーズ・ラン



ゲストが乗り込むのは大人気の「ミレニアム・ファルコン号」。パイロット2人、シューター2人、エンジニア2人の計6人一組で力を合わせて重要なミッションをクリアしていく。それぞれ役割分担が異なるため、乗るたびに違う任務につけば、全く新しい冒険を楽しむことができる。

スター・ウォーズ:ライズ・オブ・ザ・レジスタンス



ウォルト・ディズニー・イマジニアリングがこれまで手掛けてきたなかでも、最先端技術を駆使した最も大掛かりな没頭型体験アトラクションになる。レジスタンスとなって、宇宙戦艦スター・デストロイヤーに乗り込み、カイロ・レン率いるファースト・オーダーと対決へ。フロリダでは今年12月5日、カリフォルニアでは来年1月17日にオープン予定だ。

ここでしか手に入らないオリジナルグッズ 自分好みのグッズにカスタマイズも

「ブラック・スパイア・アウトポスト」には、オリジナルグッズを購入できるショップやスター・ウォーズの世界を再現したフード&ドリンクが集まるマーケットがある。ギフトショップでは、アンティークショップの「ドク=オンダーのデン・オブ・アンティーク」やさまざまなクリーチャーのグッズが揃う「クリーチャー・ストール」などのほかに、自分好みのグッズが作れる参加型のショップ(要予約)もある。

ドロイド・デポ



コンベアベルトから流れてくるパーツを組み合わせて、自分だけのアストロメック・ドロイドを組み立てることができる。RシリーズあるいはBBシリーズからひとつのコアモデルを選び、様々なパーツや好きな色でドロイドをカスタマイズする。

サヴィのワークショップ: ハンドビルト・ライトセーバー



自分だけのライトセーバーを手に入れた。そんな夢を叶えてくれるのがサヴィのワークショップだ。オリジナルライトセーバーをカスタマイズ。それを手にしたらフォースを感じることもできるかもしれない。

フード&ドリンクも個性派ぞろい スター・ウォーズの世界を飲食でも再現

フード&ドリンクでは、ルーク・スカイウォーカーが『エピソード4』で家族との食事中に飲んでいたブルーミルクや『エピソード8』の惑星オクトーでルークが飲んだグリーンミルクを再現した「ミルク・スタンド」が人気。このほか、アルコール類も提供されるバー「オーガのカンティーナ」(要予約)、多目的輸送シャトルをイメージした「ドッキング・ベイ7・フード&カーゴ」、新感覚ポップコーンが楽しめる「キャット・サカのケトル」など個性的なファストフードが揃っている。



羽田からアメリカへ 2020年春より毎日7路線を運航



羽田発の便数で 米系航空会社最大規模に

デルタ航空は、2020年3月末より、すべての東京発のフライトを羽田空港に集約、同空港からアメリカへ毎日7路線を運航する。既存の羽田-ミネアポリス、ロサンゼルス線に加え、新たに羽田-シアトル、デトロイト、アトランタ、ホノルル、ポートランド(オレゴン州)線を開設、羽田発の便数では、米系航空会社で最大の規模となる。さらに直行便が飛ぶアメリカのゲートウェイ都市からは、アメリカ大陸290都市へスムーズに乗り継ぐことが可能だ。



A350-900型機

最新の機材を投入 羽田便で提供する高品質なサービス、プロダクト

HND 羽田 ←→	NEW ATL アトランタ	NEW DTW デトロイト	NEW HNL ホノルル	LAX ロサンゼルス	MSP ミネアポリス	NEW PDX ポートランド	NEW SEA シアトル
デルタ・ワン スイート (ビジネスクラス) 全席通路側のフルフラットシートとプライベートな空間	○	○	○ (デルタ・ワン)	○	○	○ (デルタ・ワン)	○
デルタ・プレミアムセレクト (プレミアムエコノミークラス) 広いスペースに深いリクライニングとフットレスト、充実したアメニティとプレミアム専用サービス	○	○	—	○	○	—	○
デルタ・コンフォートプラス (エコノミークラス) 広い足元スペースとリクライニング、優先搭乗と専用の頭上空間スペース	○	—	○	○	—	○	—
メインキャビン (エコノミークラス) スタンダードなシートに、新ピストロスタイルの機内食とウェルカムドリンク	○	○	○	○	○	○	○
使用機材	B777-200	A350-900	B767-300	B777-200	A350-900	A330-200	A350-900

満足度の高いサービスをすべてのクラスで



ミシュラン2つ星和食店 シェフ考案の機内食

和食メニューは「一汁二菜うえの」(大阪府)の上野法男シェフが考案。デルタ・ワンでは、「京の米老舗8代目儀兵衛」の最高級ブレンド米を使用。事前予約がおすすめ(デルタ・ワン)。



機内Wi-Fiはテキストメッセージのやり取りが無料

日本発着の全フライトで機内Wi-Fiの利用が可能(有料)。なお、FacebookのMessengerやアップルのiMessageなどでのテキストメッセージの送受信なら無料だ。

ここに注目! メインキャビン(エコノミークラス)のサービス



ウェルカムドリンクでおもてなし

搭乗後は無料のウェルカムドリンクでおもてなし。スパークリングワインと桃のピューレのカクテル「ベリーニ」(写真)で乾杯!



ピストロスタイルの機内食

機内食は量/質ともにグレードアップ。食器やカトラリーもリニューアル。



充実のアメニティ、スリッパもサービス

機内用のスリッパのほか、耳栓やアイマスクが入ったトラベルキットやミネラルウォーターを提供。



スパークリングワインやアイスクリームを無料提供

充実のアルコール飲料。ミッドフライトの_snackとして、人気ブランドのアイスクリームも。

出発前のひとときを 「デルタ スカイクラブ」を羽田に開設



デルタ航空では、羽田便の拡大に合わせ、空港ラウンジ「デルタ スカイクラブ」を開設する。広さ824平米で、軽食やドリンク、高速Wi-Fiアクセスを提供するほか、バーカウンターやシャワールームなどを設置する予定だ。

ポートランド観光協会
www.travelportland.com/lang/japanese

ワールドネイキッド・バイクライド



自動車中心社会に疑問を呈して、裸で自転車に乗って夜間街中を走るワールドネイキッド・ライド。世界中で開催されているが、一番大きいのがポートランドで毎年一万人近くが参加。Bare As You Dare! 好みの裸度で参加を。

pdxwnbr.org

オレゴン州観光局
traveloregon.visittheusa.com/ja-jp

癒し効果抜群! ヤギと一緒にゴートヨガ



オレゴンでは開放的な農場でヤギと一緒にヨガを楽しむゴートヨガが大人気。美しい大自然の中で、かわいいヤギたちと触れ合いながら体験するヨガは、動物セラピーの要素も加わることで、癒し効果ならびにストレス発散にも。

goatyoga.net/product-tag/oregon-city-goat-yoga

サンフランシスコ観光協会
www.sftravel.com

ウォルトディズニーファミリーミュージアムで「フロムウォルトゥーザワールド」開催中



世界中のディズニーファンに人気のミュージアム。来年1月6日まで「ミッキーマウス:ウォルトから世界へ」を開催中。90年に渡るミッキーのアートとエンターテインメントの記録をテーマにした特別展だ。

www.waltdisney.org/press-room/mickey-mouse-walt-world

ロサンゼルス観光局
www.discoverlosangeles.com/jp

LAサーフカルチャー



「LAに来たからにはサーフィン体験したい!」という初心者にお薦めなのがベニスビーチ。個性的な客層で知られるエリアだが、ビーチは落ち着いた波が特徴的でビッグウェーブ。サーフィンは有名なボードウォークでリラックスがおすすめ。

写真提供: JKG II, Flickr

ハワイ州観光局
www.alhawaii.jp

イオラニ宮殿



ハワイ王朝7代目であるカラカウア王によって1882年に建設されたアメリカ合衆国唯一の宮殿。当時から最新の電話機や水洗トイレが設置されており、ホワイトハウスより先に宮殿に電気を導入している。現在は宮殿内部に入れる見学ツアーも実施されている。

観光局: ハワイ州観光局

マリアナ政府観光局
japan.mymarianas.com

サイパン島で体験ダイビング



世界中のダイバーを虜にするマリアナの海。「ラウラ玉ビーチ」では、巨大なアンジュ(写真)や絶滅危惧種のアオウミガメと一緒に泳ぐことができる。現地ツアーに申し込めば、初心者でも体験可能。驚きの水中絶景ポイントが待っている。

©Kirin Sekito / MVA
japan.mymarianas.com/diving

シアトル・ワシントン州観光事務所
www.visitseattle.jp

生まれ変わったシアトルのランドマークスペースニードルはスリル満点!



地上160mに世界で初めての回転するガラスの床「ザ・ロープ」や、展望台まで登るエレベーター、ガラスの「スペースリフト」、空中に浮いている錯覚を起こす「スカイライザー」と呼ばれるベンチなど、シアトルで新体験!

Courtesy of John Lok / Visit Seattle LLC
vimeo.com/220866705(動画)

トゥアラティンバレーワシントン郡観光局
tualatinvalley.org

ウェストコースト・ジャイアント・パンキン・レガッタ開催



1000もの巨大カボチャの船が湖を渡る様子が見え、毎年大勢の観客が訪れる。カボチャを使ったボウリングやゴルフ、仮装コンテスト、ハイ早食い競争なども行われる。2019年は10月19日の開催。

©Washington County Travel Association
www.tualatinoregon.gov/pumpkinregatta

カリフォルニア観光局
www.visitcalifornia.jp

カリフォルニアなら、海のないセントラルバレーでもサーフィン!!



サーフィン界の帝王ケリー・スレーターが長年の夢を叶えて建設した人工サーフィン場では、一年中天候や海の状況に心配せず、初心者から上級者までサーフィンが楽しめる。世界大会も開催されるサーフランチでぜひチャレンジを!

©WSL / Morris SORREAL
www.kswaveco.com

オレンジカウンティ観光局
www.visittheoc.com

毎週開催! サーフィンのメッカ、ハンティントンビーチのサーフシティナイト



ビーチのメインストリートで、毎週火曜日の夕方5時から夜9時まで年中無休で開催。新鮮なフルーツが並ぶ認定ファーマーズマーケットやアート作品の販売、ライブミュージックの演奏で盛り上がるストリートイベントだ。

アンカレッジ観光局
www.anchorage.net

夜空にゆらめく神秘的なオーロラ



街中から少し離れたリモートロッジや州立公園内など、アンカレッジベースでもオーロラ鑑賞が可能。ここ最近、最高の条件でオーロラ鑑賞ができる場所を求めてお客様を案内するオーロラクエストツアーが人気だ。

www.anchorage.net/winter/things-to-do/northern-lights-viewing
©Juno Kim

グアム政府観光局
www.visitguam.jp

ラッテストーン公園でチャモロ文化に触れよう!



チャモロ文化のシンボル、ラッテストーン。この謎の巨石は、誰が何のために作ったものなのかまだ解明されていない。移設されたラッテストーンがある公園の周辺には、ハガニアの町が一望できる展望台もあり、のんびり散策するのに最適。

©グアム政府観光局

観光局おすすめ

革新と驚きにあふれた、アメリカならではの新しく、ユニークな体験

驚きと発見にあふれるアメリカ。アメリカ各地の観光局より、旅行会社の商品造成や販売増につながる「新しく、そしてアメリカらしい」ユニークな体験を集めてみた。



モンタナ州政府駐日代表事務所
www.bigskyjapan.com

地ビール片手に川下り!



ブラック・フット川やクラーク・フォーク川での川下りツアーがスタート! このユニークな川下り、なんと地ビール屋がサイダー屋が送迎! 午後、日暮れ、夜のさまざまな景色を眺められるコースを選ぶ。

モンタナ州観光局



バーモント州政府観光局
www.vermontvacation.com

自然と調和したオーガニックな食を味わう



自然豊かで、人間の数より牛の方が多く畜産の州で、数々の賞を獲得するCabot チーズなど、チーズトレイルを巡ったり、メーブルシロップやアップルサイダーの工場を見学したり、地産地消の美食を是非味わってみて。

www.cabotcheese.coop/cheese

ニューヨーク市観光局
www.nycgo.com

マンハッタン過去最大の規模複合開発「ハドソンヤード」



マンハッタンのミッドタウン西部に今年3月に本格オープンした、ハドソンヤード。ニューヨークの新しい顔とも言えるこの複合施設には、展望ビルのペッセル、ショッピング店舗やレストラン、文化施設のザ・シェッドなどが揃う。

www.hudsonyardsnewyork.com

シカゴ市観光局
www.choosechicago.com

第43回シカゴマラソン10月23日開催



アメリカを代表するシティマラソンのひとつ、シカゴマラソン。世界120か国から4万人を超えるランナーが集結し、これまでに数々の記録を打ち出してきた。高層ビル群やミシガン湖など、観光名所がコースになっている。

www.chicagomarathon.com

メンフィス市観光局
www.memphistravel.com/japanese

ミシシッピ川で思う存分遊んじやおう! メンフィスのリバーガーデン公園



2018年に新たにオープン。園内のカヤックレンタルを利用して気ままにウォータースポーツを楽しむことができる。園内にある「The 4th Cup」コーヒーショップではカヤック、SUPなどのスポーツギアを予約無しでレンタルOK!

©Logan Young / Travel Memphis

コロラド州政府観光局
www.colorado.com

ダイナミックなアウトドア・アクティビティを満喫できるユーレイ(Ouray)



先住民ユート族の指導者に因んだ町名で、デンバーから車で南西へ約6時間、サンフラン山脈の中心部、標高2375mに位置する。「アメリカのスイス」とも評され、落ち着いた街の様相を持つ。アイスクライミングの聖地としても有名だ。

©Lora Skawitschka

ラスベガス観光局
www.visitlasvegas.jp

Rock 'n' Roll Las Vegas Marathon



世界各地で人気の音楽とマラソンを融合したユニークなイベント。なかでもラスベガスは規模が大きく、ネオン煌めくストリップが走るのたにだけオープンされ、お祭り感満載! 毎年有名歌手がヘッドライナーを飾り、ランナーや観客を盛り上げる。

©Las Vegas News Bureau

ニューハンプシャー州政府観光局
Visitnh.gov

世界最古の登山列車コグレイルの体験



海拔1917mのワシントン山を走る登山列車で、1869年開通。ホワイトマウンテン国立森林公園の紅葉や初夏のルピナスを観ながら頂上まで約1時間。蒸気機関車も現役でノスタルジックな雰囲気。天気の良い日は大西洋まで見渡せる。

www.thecog.com

マサチューセッツ州政府観光局
Massvacation.jp

2020年はアメリカ合衆国歴史の始まりから400年目



ボストンから車で約1時間のプリマスに、1620年イギリスから清教徒たちが新天地を求めてやって来てから来年で400年。プリマスでは、数多くの記念イベントが開かれる。入植時の様子を再現したプリマス野外博物館で当時の歴史を体験。

www.plymouth400inc.org

バージニア州観光局
www.virginia.org

マウント・バーノン



初代大統領ジョージ・ワシントンとマーサ・ワシントン夫人が暮らした、ジョージ・ワシントンが他界するまで過ごした邸宅。18世紀当時の様子が再現されたポトマック川沿いに建つこの屋敷は、アメリカで最も多くの人が訪れる歴史の邸宅だ。

写真提供: バージニア州観光局

イリノイ州観光局
www.enjoyillinois.com/jp

フランク・ロイド・ライトが残した世界遺産を巡るイリノイ州の旅



アメリカ建築家の巨匠の1人、フランク・ロイド・ライトは、イリノイを故郷と呼び、素晴らしい建築をいくつも残した。州内のライト建築を巡るトレイルは、このほどユネスコ世界遺産に登録された2軒を含む13軒を巡るセルフガイドツアー。

www.enjoyillinois.com/jp/travel-illinois-2/frank-lloyd-wright-itineraries

ミシシッピ・リバー・カントリーUSA
mrcusa.jp

最も歴史のある国立景勝道路「グレートリバー・ロード」をドライブ



アメリカの大河ミシシッピ川はハートランドと呼ばれる地域を流れ、全長2300マイル(約3680km)に及ぶ。その川の流域10州にはそれぞれ独自の魅力が溢れる。川沿いのドライブルートには、一言では語りつくせない魅力が詰まっている。

©ミシシッピ・リバー・カントリーUSA
mrcusa.jp/app-landing(ナビゲーションアプリ)

ネバダ州観光局
travelnevada.com

バーニング・マン 人里離れた荒野でのフェスティバル



電気やガスなどのインフラは無く、テレビやラジオの電波も届かず、携帯電話も圏外。売店や屋台、食堂も一切ない中で、年に1度開かれる約1週間のイベント。終盤の深夜に巨大な人形に火を放ち、燃やすことから名付けられた。

©Sydney Martinez / TravelNevada
burningman.org

サンディエゴ観光局
www.sandiego.org/plan/international-travelers/japan.aspx

国境を越えてメキシコへ! サンディエゴから日帰りメキシコへ



中心部から車で、30分ほどで国境の町に到着。入国管理局を通過するそこはメキシコ、ラテンの空気を肌で感じることができる。ワイナリーで有名なグアダルーペ、ロブスターで有名なブルエルトエボなど、バハ・カリフォルニアでの観光も堪能できる。

デルタ航空の プレミアムエコノミー

より広いお座席、深いリクライニング。
大迫傑選手のように快適な空の旅を、
デルタ・プレミアムセレクトで。



KEEP CLIMBING



DELTA



大迫傑選手 (マラソン日本記録保持者)

ハーツレンタカー Hertz Rent A Car

アメリカ特集 2019

信頼と実績で安心安全のドライブをバックアップ。さまざまなニーズに応えるサービスとサポート

100年を超える信頼と実績で利用者の期待に応えてきたハーツレンタカー。本国アメリカでは広範な営業所ネットワークやニーズに合わせたサービスや安心のサポートで日本人旅行者にも選ばれている。さまざまな特典が付与される会員ロイヤルティプログラムはレジャーでもビジネスでも人気。また、自分好みの車がチョイスできるサービスも引き続き好評だ。広いアメリカでレンタカーの旅。ハーツなら、単なる移動手段ではなく、ドライブの楽しさもサポートしてくれる。



お得で便利な「ハーツGOLDプラス・リワーズ」入会金も年会費も無料で簡単入会

「ハーツGOLDプラス・リワーズ」は、ハワイを含む4,000ヶ所の営業所で利用できるハーツオリジナルのロイヤルティプログラム。会員だけが利用できる特別なサービスを利用できることから、FITを中心に快適で便利なレンタカーの旅を求める旅行者に人気だ。日本人利用者の多いロサンゼルス国際空港やサンフランシスコ国際空港では、カウンターに立ち寄ることなく車に直接アクセスする



ことができる。借り出し手続きは、駐車場出口で車に乗ったまま免許証やガソリンの残量チェックを行うだけで簡単。また、返却もスムーズで係員による簡単なチェックのあと車を

停めたその場でレシートを受けるだけで手続きが完了する。

さらに、会員専用の割引キャンペーンも適時実施しているため、お得にレンタルできる機会も多く、文字通り「リワーズ」、恩恵の多いプログラムになっている。入会金、年会費は無料。入会手続きも同社ホームページから簡単に行うことができる。

リピーターの多いハワイでは、レンタカーを借りて、暮らすように旅を楽しみたいというニーズも多い。「ハーツGOLDプラス・リワーズ」は、ハーツのヘビーユーザーはもちろんのこと、これからハーツを利用する旅行者にとってもありがたいプログラム。また、レジャーだ

けでなく、ビジネスとレジャーを組み合わせた「プレジャー」でも利用価値は高い。

「ULTIMATE CHOICE」で自分好みの車をドライブの旅がさらに楽しく

ハーツがレジャーでもビジネスでも選ばれる理由のひとつが「ULTIMATE CHOICE」。これは、ハーツGOLDプラス・リワーズ会員だけでなくすべての旅行者が、予約したフルサイズ、ミッドサイズ、コンパクトサイズのカテゴリの中から自身の好きな車を選べるというもの。チェックイン後に指定された駐車場番号を探すこれまでの方法ではなく、実際に運転席に座って車を選ぶことができることから、目的に合わせて自分好みの一台でドライブ旅行を楽しめる。

このサービスでは契約手続きも簡素化。空港到着後ハーツのカウンターに立ち寄り、予約を確認したのち、そのまま駐車エリアに移動。車を選んだら、出庫ゲートに向い、そこに設置されたブースで契約書を受け取るだけ。また、追加料金でプレミアムアップグレードの車を選ぶことも可能だ。

このサービスは全米の主要空港営業所で提供されており、現在のところ日本人旅行者の利用の多いロサンゼルス、サンフランシスコ、ダラス/フォートワース、ラスベガス、オーランド、シアトル、ニューアークなどを含め59ヶ所で利用が可能(2019年第2四半期現在)。

充実のネットワークとサポート体制 安心して快適なドライブをバックアップ

また、営業所ネットワークも充実しているのもハーツの強み。世界では1万200ヶ所、アメリカでは実に5,000ヶ所以上の営業所を構え、ユーザーの利便性に応じている。日本から直行便が飛んでいる空港にはすべて営業所があるため、日本人旅行者にとっても便利。空港で車を借りて、滞在期間中の移動手段として利用し、帰国日に空港で返却する使い方をとする旅行者は多い。

主要都市の中心部やホテル内にも営業所を構えているため、近郊への移動、街乗り、都市を基点とした周遊など目的に合わせた利用ができるのも旅行者にとってはうれしい。たとえば、滞在期間のうち、数日あるいは1日だけレンタカーを借りて、自由に柔軟に自分なりの旅を楽しむことも可能になる。

さらに、ドライブ中のサポート体制が整っている点も安心だ。アメリカでは、ドライバーに対して日本語オペレーターにつながる「日本語アシスタント・ダイヤル」を提供。さらに、トールフリー(無料)の「緊急ロードサービス」でも日本語オペレーターに繋いでくれる。

このほか、日本人ドライバー向けのサービスとして、運転免許証翻訳フォーム(HDLT)を引き続き提供している。この翻訳フォームと日本の運転免許証をハーツの営業所で提示すれば、国際運転免許証なしでも車をレンタルすることが可能だ。



We're here to get you there.

海外ミーティング、のち、ドライブ。

海外での移動は何かとペースが乱れがちですが、ハーツの無料会員制度「Goldプラス・リワーズ」で、カウンターに並ぶことなく、すぐに旅をスタートさせましょう。仕事もドライブも、ハーツのレンタカーでスムーズに。

www.hertz-japan.com

ADでレンタカー体験を

ハーツでは旅行業界関係者向けにお得なエージェント・ディスカウント料金(AD)を用意している。同社では、まずは業界関係者にレンタカーを借りてもらい、その楽しさや便利さを体験して欲しいとこのディスカウント・サービスを勧めている。対象エリアは世界1万200ヶ所の営業所。車のクラスと優待料金は利用営業所によって異なる。

問い合わせは

ハーツレンタカー予約センターまで
0120-489882 (9:00~18:00 土日祝祭日除く)

アラモレンタカー Alamo Rent A Car

アメリカ特集 2019

レンタカーの旅が楽しくなるサービスとサポートを提供

アメリカでもレジャーマーケットで高い評価

アラモレンタカーは、アメリカでもレジャー・トラベルの足として高い人気を集めている。自動チェックインシステム (Kiosk) でスムーズにチェックインし、「Alamo Select」で自分好みの車をチョイス。多機能タブレット「Travel Tab」はさまざまな場面でドライブをサポートしてくれる。分かりやすくお得な料金プランも好評。アラモならストレスフリーで楽しいレンタカーの旅を約束してくれる。また、旅行会社向けに販促ツールを用意するなど、旅行会社経由の販売にも力を入れている。

「Alamo Select」で好きな車をチョイス Kioskでらくらくチェックイン

アラモがレジャーマーケットで選ばれる理由のひとつが予約したサイズカテゴリーのなかから好きな車を選べる「Alamo Select」。主要空港営業所で利用することが可能だ。同一カテゴリーから好みの車を選ぶことができるほか、車種も豊富に揃っているため、人数や目的に合わせてサイズを選ぶことができるのもうれしい。

また、アラモは利用者がスムーズにチェックインできる環境も整えている。自動チェックインシステム (Kiosk) もそのひとつ。アメリカでは、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ラスベガスなど日本人利用の多い各空港営業所にも設置している。

カウンターを通さず自分でレンタル手続き



主要空港営業所に自動チェックイン機 (Kiosk) を設置

を行うことができるため、アメリカの空港に到着後カウンターに並ぶ時間が省け、言語選択として日本語にも対応しているのが、言葉の心配もいらない。ウォークインによるレンタルはもちろんのこと、日本で予約したクーポンにも対応している。

便利な多機能ツール 「Travel Tab」 万が一の場合でも安心サポート

アラモならドライバーのサポートも充実。そのひとつとして、スマートフォンサイズの多機能タブレット「Travel Tab」もサポートツールとしてレンタルしている。基本的な日本語音声認識が付いたカーナビ機能のほか、レンタル地域によってはインターネット接続やエンターテインメント・アプリなど、旅行がさらに楽しくなる機能も付いている。レンタル料金は1日\$25前後。日本語に設定することもできるため、日本人ドライバーにとってもうれしいサービスだ。

このほか、万が一の場合のサポートとして、ロードサイドプラスでは、タイヤのパンク修理／交換や鍵の閉じ込めなどの手数料をカバーしている。また、24時間対応の「ロードサイ



ド・アシスタンス」も提供。多言語サービスとして日本語による対応も行っているため、日本人ドライバーにとって頼りになるサポートだ。



カーナビ機能など付いた多機能タブレット「Travel Tab」

便利でお得な 「スーパーゴールドプラン」

アラモでは、日本円建てパッケージプランとして「ボーナスプラン」「ゴールドプラン」「スーパーゴールドプラン」を提供している。「スーパーゴールドプラン」は、「ゴールドプラン」に日本語対応のGPSカーナビを加えたもの。個別にGPSカーナビをレンタルするよりも、お得なパッケージにすることで、さらに安心なドライブをサポートしていく。また、どちらの料金プランも追加運転手を4人まで登録できるようにしているため、グループ旅行にも最適だ。

利用頻度の高い州で 乗り捨て無料サービス

アメリカでレンタカーの旅を楽しみたい利用者にはうれしいサービスも提供。日本人旅

行者に人気の州では乗り捨てが無料になる (乗り捨ては事前予約が必要)。

フロリダ州内ではどこでも乗り捨てても無料。たとえば、オーランドの営業所で借りてマイアミの営業所で乗り捨てることも追加料金無しで可能だ。

また、カリフォルニア州、アリゾナ州、ネバダ州であれば3州にまたがって乗り捨てが無料になる。たとえば、ロサンゼルス国際空港で借りて、ネバダ州のラスベガス国際空港やアリゾナ州のフェニックス国際空港で乗り捨てても追加料金はかからない。

旅行会社経由の販売も強化 販促ツールとしてドライブマップを配布

アラモでは、アメリカ向け販促ツールとして「カリフォルニア・ドライブマップ」、「ハワイ・ドライブマップ」、「グアム・ドライブマップ」を制作。リクエストベースでレンタカー商品販売する旅行会社に配布している。

各マップには、わかりやすいドライブコースのほか、アラモの各営業所、ドライブのヒントや観光スポットも紹介しているため、観光ガイドとしての利用価値も高い。さらに、カウンターでの手続き方法や返却方法、ガソリンの入れ方など基本情報も網羅しているため、レンタカー初心者にとっても便利な冊子となっている。

もっと
楽しく
アメリカのドライブが
アラモなら、

保険込みにさらに安心をプラス「スーパーゴールドプラン」
保険に税金、ガソリン代金*、追加ドライバー、GPS*が含まれた「スーパーゴールドプラン」なら、海外での運転も安心です。*一部営業所を除く

旅行業界向けディスカウントを利用して、まずはドライブ体験を!
アラモレンタカーでは、旅行業界向けのディスカウント料金を提供しています。まずはお気軽にお問い合わせ下さい。(エコノミークラス以外のカテゴリーが対象。適用外期間あり。)

Alamo



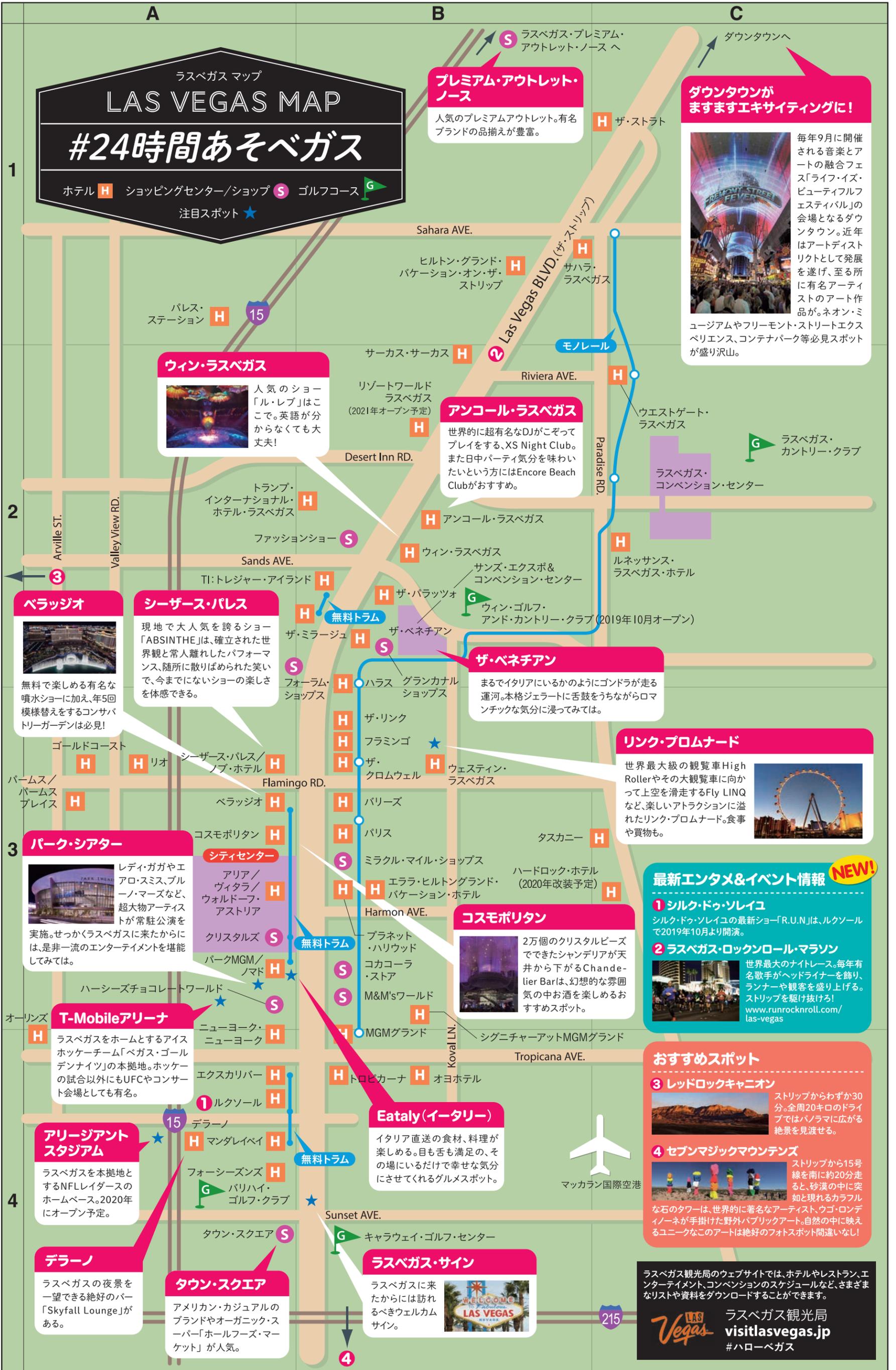
GoUSA.jp

アラモレンタカー日本事務所

〒104-0045 東京都中央区築地7-10-2 築地小川ビル2階
TEL.03-5962-0345 FAX.03-5962-0346

お問い合わせ・お申し込みは

☎0120-088-980
www.alamo.jp



ラスベガス マップ
LAS VEGAS MAP
#24時間あそべガス
 ホテル **H** ショッピングセンター/ショップ **S** ゴルフコース **G**
 注目スポット **★**

プレミアム・アウトレット・ノース
 人気のプレミアムアウトレット。有名ブランドの品揃えが豊富。

ダウンタウンがますますエキサイティングに!



毎年9月に開催される音楽とアートの融合フェス「ライブ・イズ・ビューティフルフェスティバル」の会場となるダウンタウン。近年はアートディストリクトとして発展を遂げ、至る所に有名アーティストのアート作品が。ネオン・ミュージアムやフリーモント・ストリートエクスペリエンス、コンテナパーク等必見スポットが盛り沢山。

ウィン・ラスベガス
 人気のショー「ル・レブ」はここで。英語が分からなくても大丈夫!

アンコール・ラスベガス
 世界的に超有名なDJがこぞってプレイをする、XS Night Club。また日中パーティ気分を味わいたいという方にはEncore Beach Clubがおすすめ。

ベラジオ
 無料で楽しめる有名な噴水ショーに加え、年5回模様替えをするコンサバトリーガーデンは必見!

シーザース・パレス
 現地で大人気を誇るショー「ABSINTHE」は、確立された世界観と常人離れたパフォーマンス、随所に散りばめられた笑いで、今までにないショーの楽しさを体感できる。

ザ・ベネチアン
 まるでイタリアにいるかのようにゴンドラが走る運河。本格ジェラートに舌鼓をうちながらロマンチックな気分には浸ってみては。

リンク・プロムナード
 世界最大級の観覧車High Rollerやその大観覧車に向かって上空を滑走するFly LINQなど、楽しいアトラクションに溢れたリンク・プロムナード。食事や買物も。



最新エンタメ&イベント情報 NEW!

- シルク・ドゥ・ソレイユ**
 シルク・ドゥ・ソレイユの最新ショー「R.U.N.」は、ルクソールで2019年10月より開演。
- ラスベガス・ロックンロール・マラソン**
 世界最大のナイトレース。毎年有名歌手がヘッドライナーを飾り、ランナーや観客を盛り上げる。ストリップを駆け抜けろ!
www.runrocknroll.com/las-vegas

おすすめスポット

- レッドロックキャニオン**
 ストリップからわずか30分。全周20キロのドライブではパノラマに広がる絶景を見渡せる。
- セブンマジックマウンテンズ**
 ストリップから15号線を南に約20分走ると、砂漠の中に突如と現れるカラフルな石のタワーは、世界的に著名なアーティスト、ウゴ・ロンディネーが手掛けた野外パブリックアート。自然の中に映えるユニークなこのアートは絶好のフォトスポット間違いなし!

ラスベガス観光局のウェブサイトでは、ホテルやレストラン、エンターテインメント、コンベンションのスケジュールなど、さまざまなリストや資料をダウンロードすることができます。
ラスベガス観光局
visitlasvegas.jp
 #ハローベガス

アメリカへのフライトがますます充実 より便利に、快適に



Network

羽田発のフライトを大幅拡充



※2019年10月1日時点での情報を基にまとめたものです。

羽田からLA、ダラスへ 成田や関西からも選べるフライト

アメリカン航空は、2020年3月末より羽田ーロサンゼルス線を1日2便に増便、また羽田ーダラス フォートワース線を1日1便開設する予定だ。また、日本航空との共同運航便を合わせると、ロサンゼルスへは成田と関西から、ダラスへは成田か

らも数多くのフライトを運航するので、フライトの選択肢はより広がり利用しやすくなる。また日本航空は、現在羽田からニューヨークとサンフランシスコへ運航、2020年3月末からはさらにそのネットワークを増強する予定だ。

アメリカン航空と日本航空 共同事業でよりシームレスな旅を実現

アメリカン航空と日本航空の共同事業により、行きはアメリカン航空、帰りは日本航空といった選択が可能となり、スケジュールに応じたフライトの選択肢がより広がり、ますます便利

になった。ほかにも予約や空港、機内食を含めた機内でのサービス、運賃やマイルに至るまで、シームレスなサービスで、共同事業は空の旅により多くのメリットをもたらしている。

LA、ダラスからアメリカ各地へ メキシコ、中南米、カリブ諸国も充実のネットワーク

西海岸のロサンゼルスと、中南部ダラスは、どちらもアメリカン航空のハブ空港。ロサンゼルスとダラスを拠点に、全米各地、さらに中南米やカリブ諸国へもスムーズにアクセスできるのが同社の強みだ。

ロサンゼルスからは1日200便以上を運航。また、アメリカン航空最大のハブ空港であ

るダラスからは、1日約900便を運航、圧倒的なネットワークを誇る。

さらにメキシコ24都市、カリブ諸国38都市を含む、中南米90都市への豊富なフライトスケジュールで、北米からその先の都市へも便利に乗り継ぐことが可能だ。

ラスベガスへの直行便を運航 期間限定の特別なフライト

アメリカン航空は、2020年1月4日~12日の期間、東京(成田)ーラスベガス間の直行便を運航する。期間中に開催される「CES(Consumer Electronics Show)」に合わせた特別なフライトで、乗り継ぎなくノンストップで日本から直接ラスベガスへアクセスできる。今年は使用機材を大型化(ボーイング777-200型機)、より多くの座席を提供する。

●東京(成田)ーラスベガス線 フライトスケジュール(2020年1月4~12日)

運航曜日	便名	出発地	出発時刻	到着時刻	到着地
火・金・日	AA186	成田(NRT)	18:05	11:20	ラスベガス(LAS)
月・水・木・土			18:20	11:35	
火・木・金・日	AA187	ラスベガス(LAS)	10:30	15:30 ⁺¹	成田(NRT)
月・水・土			11:15	16:15 ⁺¹	

※運航スケジュールは予告なく変更される場合がございます。+1翌日着

Service

最新の客室設備で快適なフライトを

アメリカン航空

Flagship™ ビジネス

全席通路側のフルフラットシート

- 全長195cmのフルフラットシートを搭載。全席から直接通路にアクセス可能
- 19インチの個人モニターと「Bang&Olufsen」のノイズキャンセリングヘッドフォンで楽しめる機内エンターテインメント
- 米系航空会社では初となるパーコーナー*を用意 *787-9以外の機材に導入
- 東京芝大門「くろぎ」の黒木純シェフ考案/監修のオリジナル機内食(日本発アメリカ行き、出発24時間前まで事前予約が可能)
- アメリカの空港*では、充実した設備とサービスを誇るFlagship™ラウンジで出発前のひとときを

*ニューヨーク(JFK)、マイアミ、シカゴ、ロサンゼルス、ダラスフォートワース



アメニティキット

機内食一例

プレミアムエコノミー

広々とした空間で 専用サービスを提供

- 広々とした足回りスペースと、幅広い革張りシートのゆったりとした空間
- 11インチの個人モニターとノイズ低減ヘッドフォンで楽しめる機内エンターテインメント
- グレードアップした食事と飲み物(事前予約可能)
- 専用のアメニティキットや優先搭乗、優先手荷物タグなど、ワンランク上の上質なサービス



アメニティキット

機内食一例

日本航空

JAL ビジネスクラス [JAL SKY SUITE / SKY SUITEII / SKY SUITEIII]



- 北米線全便「JAL SKY SUITE」機材で運航、長時間のフライトでも、ゆったりと快適な空の旅を提供
- 寝心地にこだわったフルフラットシート、全席通路アクセス
- 個室感の高いプライベート空間で上質なやすらぎのひとときを
- 空の上の特別なレストラン「BEDD」では選ばれたシェフたちの監修メニューを提供
- 世界最高ランクの「5-STAR AIRLINE」に認定*



機内食一例

JALエコノミークラス [JAL SKY WIDER]

- 世界で最も優れているエコノミークラスシートに贈られる「ベスト・エコノミー・エアラインシート賞」3年連続世界1位を受賞*
- エコノミークラスの総合評価で世界で最もすぐれている航空会社に贈られる「ワールド・ベスト・エコノミークラス賞」を日本初受賞*



*SKYTRAX社認定

American
AirlinesJAPAN
AIRLINES

アメリカへのフライト。 選択肢が多いほうがいい。

アメリカン航空と日本航空をご利用いただくと、アジアとアメリカ間のご旅行がよりいっそう便利です。

太平洋路線のビジネスクラスにフルフラットシートを搭載。

さらに、アメリカン航空にてビジネスクラスをご利用の際は、
JALとの和食コラボレーションメニューをお楽しみいただけます。

また、機内Wi-Fiや多言語化に対応した機内エンターテインメントも全てのクラスでご利用いただけます。

多彩なフライトオプションと2社の強いパートナー関係により、
アメリカはもちろん、その先の中南米へより充実した旅を。

路線・便または機材変更により、サービスの内容が一部異なる場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

www.aa.com/jal

www.jal.co.jp/inter

